



とちょう保育園便り

2019年9月号

日中はまだまだ、蒸し暑いものの、朝晩の風が心地よくなり、少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。8月は、お散歩を諦め、室内で体を動かした後に、シャワーを浴びてさっぱりしたり、水遊びを楽しんだりしました。うさぎ組さんは色水や、氷、寒天などを使って、少し上級者の夏の楽しみを満喫していました。これからの季節、秋の虫を探しに子ども達の楽しい探索が始まることと思います。今からお土産話が楽しみです。

今月も、元気に笑顔で、過ごせるように、体調管理をしっかりとしていきたいと思います。

とちょう保育園 澤田陽子

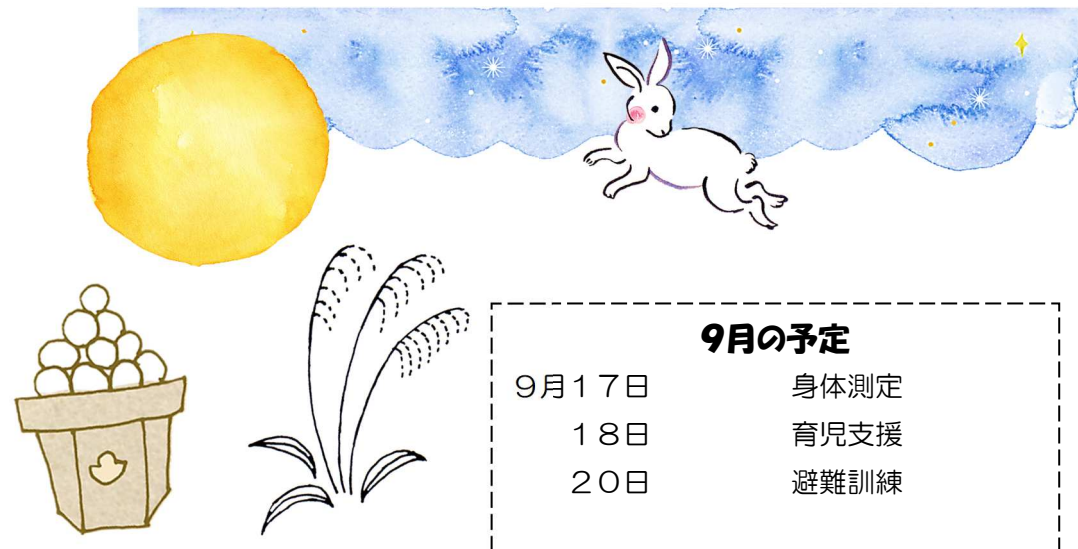
体調不良児対応型保育

とちょう保育園では、急な発熱、発疹、その他体調不良時の対応として、離れた場所にいる小児科医（園医）がライブカメラに映るお子さんの姿を見て、看護師に助言をする体制を整えています。従来のやり方ですと「熱が38度あるのでお迎えをお願いします。」とすぐに保護者にお迎えをお願いしていました。今も、そのような園が一般的だと思います。それぞれの様子を考慮するのが難しい為です。保育園で、お熱が高くなった場合は、水分を多めにとってまずは様子を見ます。一時的な場合もあるからです。他に所見がない場合はいつものお迎え時間まで園で過ごすこともあります。園医の助言で、本日に「直接の受診をした方が良い」と言われることも多くあります。年齢的に小さいお子様は、既往歴が少なく、熱が出る時に、けいれんを起こしやすい、中耳炎になりやすい、蕁麻疹が出やすいなど、それぞれの体質が判らない場合が多いからです。又、「病院の予約がしたい」、「体調が悪い場合は早めに知らせてほしい」という声も多く聞かれるので、園医の助言をお伝えしつつ、お子さまの様子に合わせて、お迎えの時間を相談しています。インフルエンザや流行性胃腸炎が流行っている場合は、早めのお迎えをお願いします。引き続きご協力をお願いします。

子ども達のご機嫌伺いに今日も行く！

私の日課は、各クラスを回って子ども達が笑顔で過ごしているか、ご機嫌伺いをすることです。みんなが楽しそうに過ごしていると、あ〜良かったと、通り過ぎます。

ご機嫌が悪くて、涙、涙の時は、保育園探検に誘います。自分のクラスを出て、よそのクラスに行くと最初は緊張気味の面持ちでも、すぐに自分より小さい子や、大きい子の遊びに興味津々、ご機嫌が良くなるのが、度々です。又今日は、何だかイライラしているな〜と思った時は、事務所の一角にある医務コーナーに誘います。狭いコーナーに魅力的な玩具がぎっしり。それもそのはず、体調の悪い時に、少しでも楽しく過ごしてもらおうと考えた玩具ばかりなので。そこで、玩具を独占して、大人相手にしばらく遊ぶと、満足した顔で又クラスに帰っていきます。そんな、心のケアをこまめにしながら、子ども達が笑顔で過ごせるように、今日も「ご機嫌はいかが？」と園の中を回っています。楽しいことに夢中で、知らん顔されることもよくありますが…。それはそれで、私にとって、嬉しい光景でもあります。



9月の予定

9月17日	身体測定
18日	育児支援
20日	避難訓練